

日田警察署協議会

第4回会議の開催状況

第1 開催月日

令和5年1月30日（月）

第2 出席者

協議会	委員	7名
警察署	署長、副署長、総務課長、会計課長、留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長	10名

第3 議事の概要

1 業務説明等

警察署から

- ・ 第3回警察署協議会以降における日田警察署の運営重点推進状況について説明がなされた。

2 諮問事項の答申

警察署協議会から本年度の諮問事項である

- ・ 高齢者が安全で安心して暮らせる取組について
サブテーマ 特殊詐欺被害から高齢者を守る施策
高齢者の交通事故防止にかかる施策

について答申がなされた。

(1) 特殊詐欺被害から高齢者を守る施策について

- ア 高齢者対象の防犯講話の継続強化
- イ 高齢者方の訪問による防犯対策の強化
- ウ 多様なメディアによる情報発信
- エ 現役世代等職域における防犯指導の強化
- オ 官民一体となった水際対策の推進

(2) 高齢者の交通事故防止にかかる施策について

- ア 高齢者対象の交通講話における参加率の向上
- イ 法令の改正などにおける各種広報の強化
- ウ 道路標示等の補修及びドライバーの視認性を高める施策の推進
- エ 高齢者が運転免許証を返納しやすくするための交通環境の整備

3 運営重点推進状況に関する意見

- (1) 委員から「若手警察官の育成について、警察官としての実務や社会常識など幅広い教養を継続しているとの説明を受けた。若手警察官には是非頑張ってもらいたい」旨の意見がなされ、警察署から「若手警察官の早期育成は警察署の重要課題であり、少しでも早く市民のみなさまのお役に立てるように、若手警察官を対象とした各種教養をはじめ、実際の現場での実戦的指導、犯人の制圧逮捕に必要な術科訓練の推進などに努めている」旨の回答がなされた。
- (2) 委員から「日田警察署管内の特殊詐欺は、どのような手口が多いのか」旨の質問がなされ、警察署から「12月末のデータでは、日田警察署で認知した特殊詐欺のうち約80%が架空料金請求詐欺である。一例としては、パソコンウイルスに感染したなどと騙して電子マネーカードを購入させ、カードの番号を聞き出す手口などがある」旨の回答がなされた。
- (3) 委員から「日田警察署管内で停止線などの道路標示が消えかけている箇所が散見される。安全運転サポート車などの運転支援機能の反応をよくするためにも、消えかけた停止線などを補修すべきと思うが、警察で対応しているのか」旨の質問がなされ、警察署から「警察が対応しているものと県などの道路管理者が対応しているものがあるが、地区の要望として具体的な場所を挙げただけであれば、現場確認の上、対応を図りたい」旨の回答がなされた。
- (4) 委員から「特殊詐欺の被害を未然に防止した好事例の広報はどのようにしているか」旨の質問がなされ、警察署から「好事例としては、コンビニエンスストアの店員の機転により、電子マネーによる特殊詐欺被害を水際で阻止した事

例などがあるが、広報については店側の意向で差し控えたケースがあった。今後も特殊詐欺の防止に貢献された方の意向を踏まえつつ、各種媒体を活用した広報に努めたい」旨の回答がなされた。

- (5) 委員から「街頭の電柱などに警察官をモデルにした写真のような看板などがあるが、日田警察署で設置しているのか」旨の質問がなされ、警察署から「警察官の実物大の写真を使用した看板については、電柱の管理者の協力により、県警本部が設置している。横断歩道における歩行者優先意識の醸成などを目的としている」旨の回答がなされた。
- (6) 委員から「#9110に架けた場合、どこにつながるのか。また110番との違いは何か」旨の質問がなされ、警察署から「#9110は、警察安全相談ダイヤルであり、各種相談の窓口として県警本部の警察安全相談係などが対応する。110番は事件事故などの緊急時の通報先であり、県警本部の通信指令センターが対応する。設置の趣旨や想定している受理対象に違いがある」旨の回答がなされた。